

令和 2 年度

事業報告書

社会福祉法人

草加市社会福祉事業団

目 次

総 括	・・・・・・・・	1 頁
事 務 局	・・・・・・・・	4 頁
草加市立養護老人ホーム松楽苑	・・・・・・・・	9 頁
草加市障害福祉サービス事業所つばさの森	・・・・・・・・	15 頁
草加市総合福祉センターであいの森	・・・・・・・・	21 頁
草加市在宅福祉センターきくの里	・・・・・・・・	36 頁
草加市高年者福祉センターふれあいの里	・・・・・・・・	47 頁
草加市障害者グループホームひまわりの郷	・・・・・・・・	52 頁
障害者総合支援センター	・・・・・・・・	56 頁
生活介護事業所そよかぜの森	・・・・・・・・	63 頁

総 括

当事業団は、これまで培ってきた福祉サービスの経験を活かしながら積極的な福祉サービスの展開を図り、利用者本位のサービス提供及び地域福祉の向上・発展に努めてまいりました。

当事業団の主要資源である人とその能力などを最大限に有効活用する中で、草加市と一体となって各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和2年度の主な取組みとしては、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）対策のため、日々の感染症防止対策の徹底を行うとともに、各施設と連携し感染予防を重点的に取り組みました。人材の活躍の場を確保するため、職務限定正規職員の勤務場所を拡大し、積極的な採用を図るとともに、昨今の労働情勢に対応すべく就業規則等の見直しを行いました。

また、中長期的な視点における法人の事業運営の基軸となるよう中期経営基本計画（平成30年度（2018年度）から令和4年度（2022年度）までの3年目の年度でもあり、この計画を各職員へ浸透させるため、各施設における計画の目標管理による業績評価を本格的に実施してまいりました。

さらに、地域における福祉サービスの質の向上を図りながら、安定した施設・事業運営を推進するため、引き続き、次の事項に積極的に取り組みました。

I 指定管理者等としての自覚と責任について

市との連携を強化し、各事業についても指定管理者あるいは業務の受託者としての自覚と責任を持って安心・安全な運営を行う中、より良いサービスの提供と信頼される施設と事業の運営を図るため、職員一丸となって経営の改善及びサービスの充実向上に努めました。

また、新たな脅威である新型コロナウイルスへの対応を市と連携しながら取り組み、草加市総合福祉センターであいの森高年者福祉センターと草加市高年者福祉センターふれあいの里等については、一定期間の休館や利用制限を行いながら運営をしました。

II 経営基盤の確立について

安定した経営を実現するために、施設長等による経営会議等を定期的に行い、経営の「収支バランス」を常に意識・確認し、ムリ・ムダ・ムラのない効率的、効果的な事業の推進に努めました。

また、利用者サービスの向上、経営の安定、職員の意識改革等を推進するために、経営会議等で確認を行いました。

Ⅲ 地域福祉の推進について

指定管理を受けている施設の運営や受託業務は、地域の方々や関係機関の理解と協力が何より必要です。地域における福祉の中核的存在となるよう、施設運営や業務運営の改善を図り、地域福祉の推進に努めました。

Ⅳ 人材の確保・育成について

質の高い福祉サービスの提供を目指し、資格を有する職員の人材の確保とともに人材の育成に努めました。人材の育成面については、階層別の事業団主催研修や他機関が開催する外部研修（オンライン研修含む）などを積極的に取り入れ、職員の意識改革や資質の向上を図りました。

また、人材の確保面においては、各大学や専門学校への訪問等を行い、一定の採用につながりました。草加市内の社会福祉法人で組織する草加市社会福祉法人ネットワーク会議において、昨年度に引き続き、共催で合同面接会の開催を予定しておりましたが、感染症対策のため中止としました。

Ⅴ 情報の提供について

事業団とその運営する事業について、地域の方々に広く知っていただくため、事業団だより「輝き」（第10号）をリニューアルし発行しました。草加市や一部のご家庭や関係機関等に送付するとともに、ホームページやフェイスブック等を活用し、事業団の広報活動を推進しました。

Ⅵ 安全対策について

(1) 防災対策

事業団として、非常災害対策計画をもとに、有事に職員が適切な行動がとれるよう防災対策を図りました。常に施設設備の安全管理に努めるとともに、消防機関の協力を得て、避難訓練や初期消火訓練等を各施設において実施し、職員と利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

また、災害時に備え、職員による避難経路の安全点検や取り組む業務の明確化など、定期的な訓練を行い、職員の災害対応の向上に努めました。

さらに、新型コロナウイルス対策として、消毒液の設置、職員のマスクの着用、職員や利用者への検温の実施等を行いました。

(2) 防犯対策

事業団として、警察及び関係機関の協力を得て、定期的な防犯訓練を実施し、職員の防犯意識の向上に努めました。

組織一覧

組 織 名	所 在 地	開設年度	入所定数	職員数
事 務 局	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	昭和 6 3 年	—	7 (5)
養 護 老 人 ホ ー ム 松 楽 苑	草加市柿木町 1 8 8 番地	昭和 5 1 年	5 0	1 0 (14)
障害福祉サービス事業所つばさの森	草加市柿木町 1 1 0 5 番地 2	平成元年	8 0	9 (14)
総合福祉センターであいの森	草加市柿木町 2 6 1 番地 1	平成 4 年	—	7 (21)
在 宅 福 祉 セ ン タ ー き く の 里	草加市谷塚上町 7 0 4 番地 3	平成 1 3 年	—	1 3 (14)
	草加市瀬崎 五丁目 2 0 番 1 6 号			
高年者福祉センターふれあいの里	草加市新里町 1 0 6 番地 6	平成 1 7 年	—	4 (4)
障害者グループホームひまわりの郷	草加市柿木町 1 1 0 4 番地	平成 2 2 年	3 0	6 (26)
障害者総合支援センター	草加市栄町二丁目 1 番 3 2 号 ストーク草加式番館 1 階	平成 2 2 年	—	1 0 (10)
生活介護事業所そよかぜの森	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	平成 2 9 年	4 0	1 5 (11)
※ 職員数については、令和 3 年 3 月 31 日現在				8 1
※ () 内は、契約職員及び臨時職員の数で外書き			合 計	(119)

事 務 局

I 概要

事務局は、各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和2年度における事務局の主な取組としては、新型コロナウイルスに関する対策や施設との調整等を行うとともに、労働基準法等に即した規程の整備を積極的に進めました。

また、税務顧問や社会保険労務士事務所の指導のもと、経営労務管理の改善に向け取り組みました。

さらに、非常災害対策計画及び危機管理マニュアルを活用し、施設と連携を図りました。

1 評議員会、理事会及び監査

事業計画、予算、事業報告及び決算のほか、法人運営上重要な事項について、適宜、評議員会及び理事会を書面決議または新型コロナウイルス対策を十分行いながら開催し、審議、議決をいただきました。

また、業務執行の状況及び財産の状況（会計経理）の適正を期するため、監事監査を実地しました。

2 効率的、効果的な経営の推進

経営会議を定期的で開催し、各施設の事業において、目標を定めた事業の推進を図り、適正かつ効率的な事業の運営に努めました。

また、人事評価制度を活用し、各施設との綿密な連携の下、職員の資質の向上を図りました。

3 職員研修

階層別の事業団主催研修や他機関が開催する外部研修などを積極的に取り入れ、職員の意識改革と資質の向上に努めるとともに、利用者が安心して利用できる施設サービスの充実・向上に努めました。

II 評議員、役員及び評議員選任・解任委員一覧表

1 評議員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
評議員	齋藤幸子	ボランティア草加連絡協議会
評議員	平島弥生	草加市健康福祉部(副部長)
評議員	加藤明	民生委員・児童委員協議会
評議員	猪俣裕嗣	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	森永功	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	矢作浩之	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 そうか光生園
評議員	浅古臣男	学識経験者(事業団OB)
評議員	佐々木一男	草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森保護者会
評議員	大矢浩子※	草加地区保護司会(理事)
評議員	岡田卓也※	公益社団法人草加市シルバー人材センター

任期：平成29年(2017年)4月1日から令和3年(2021年)6月定時評議員会まで

※令和2年(2020年)4月1日から令和5年(2023年)6月定時評議員会まで

2 役員(理事及び監事)

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
理事長	浅井昌志	草加市長
副理事長	斉藤和見	草加市健康福祉部(部長)
常務理事	下国季樹	学識経験者
理事	浅見宗久	学識経験者
理事	石川憲章	特定非営利法人身体障害者福祉協会
理事	秋山恵美子	社会福祉法人光陽会
理事	深井薫	施設長
理事	丹下和子	草加市民生委員・児童委員協議会(副会長)
理事	山崎修	草加商工会議所(専務理事)
監事	武田康成	税理士
監事	青木喬	地域福祉関係者

任期：令和元年(2019年)6月24日から令和3年(2021年)6月定時評議員会まで

3 評議員選任・解任委員 (令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	選任基準
委員長	青木 喬	監事
委員	片山 和夫	外部委員
委員	竹城 満博	事務局員

任期：令和元年(2019年)6月24日から令和3年(2021年)6月定時評議員会まで

Ⅲ 評議員会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり評議員会を開催しました。

1 令和2年度定時評議員会

- (1) 日時 令和2年6月23日(火)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 評議員10人
- (4) 議決事項
 - ① (報告) 令和元年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和元年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算(監事監査報告を含む)

2 令和2年度第2回評議員会

- (1) 日時 令和3年3月26日(金)午後3時30分
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員9人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の議決を求めることについて

IV 理事会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり理事会を開催しました。

1 令和2年度第1回理事会

- (1) 日 時 令和2年4月1日(水)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団常務理事の選定について

2 令和2年度第2回理事会

- (1) 日 時 令和2年5月21日(木)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 令和元年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和元年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の招集について

3 令和2年度第3回理事会

- (1) 日 時 令和2年6月10日(水)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の開催方法の変更について

4 令和2年度第4回理事会

- (1) 日 時 令和2年11月18日(水) 午後2時30分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事8人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① 令和2年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業資金収支補正予算(第1号)
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について

5 令和2年度第5回理事会

(1) 日 時 令和3年3月26日(金)午後1時25分

(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森

(3) 出席者 理事7人、監事2人

(4) 議決事項

- ① 令和2年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業資金収支補正予算(第2号)
- ② 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業計画
- ③ 令和3年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業資金収支予算
- ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
- ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について
- ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
- ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑧ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の招集について
- ⑨ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑩ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について
- ⑪ 施設長の任免につき議決を求めることについて

V 評議員選任・解任委員会

評議員を選任するため、次のとおり評議員選任・解任委員会を開催しました。

1 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会

(1) 日 時 令和3年3月29日(月)午前9時55分

(2) 場 所 事務局

(3) 出席者 委員3人

(4) 議決事項

- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員の選任につき議決を求めることについて

草加市立養護老人ホーム 松楽苑

I 養護老人ホーム事業

1 生活援助

入所者一人ひとりのニーズや心身の状態に応じた処遇計画に基づき、安全で快適な日常生活を営むことができるよう常に配慮し、適切な支援に努めました。

また、季節ごとの行事を実施することにより四季を感じ、クラブ活動や趣味活動を通して入所者間のコミュニケーションが図られるよう支援を行いました。

2 相談・助言

入所者の生活における相談・助言、金銭管理、各種申請代行等を行い、安心して安全な生活ができるよう支援を行いました。

3 健康管理

午前・午後と1日2回の体操・ストレッチを実施しました。

また、余暇時間には散歩を促す他、外部講師を招き月4回程度の3B体操を実施することにより、体力・健康の維持に努めました。

嘱託医による毎月の定期検診や年2回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。

また、看護職員による健康相談・血圧測定・健康チェック並びに他職種との連携から、入所者の体調の変化、さらに精神的な変化に対して早期に適切な対応を行うとともに、専門的な関係機関に繋げ、疾病の早期発見、早期治療に努めました。

4 衛生管理

施設内共有部分や各居室の消毒及び換気を定期的に行い感染防止に努め、隔離が必要な状況が生じた場合には、早期に隔離を行うことで感染症がまん延しないように努めました。

また、入所者に対し手洗いやうがいを励行し感染症や食中毒の予防に努めました。

新型コロナウイルス感染対策のため、入所者及び職員にはマスクの着用及び1日2回の検温を行い、消毒及び換気の回数を増やしました。外出や面会、行事などについても、一部制限をかけるなどの対策をしました。食堂においては、密にならないように食堂を2ヶ所に分け食事を提供し、対面になってしまう場合はパーテーションを設置し飛沫防止に努めました。

5 食事

毎月行う会議に入所者も参加していただき、その時の意見を参考に食事内容の充実を図るとともに季節に合わせた旬の食材を取り入れ、春夏秋冬を感じていただけるように、栄養士・調理員で工夫を重ねて食事の提供をしました。

また、行事食や月1回イベント食を取り入れ、普段とは違った食事についても楽しんでいただきました。

さらに、入所者の身体状況に応じ、粥食、キザミ食及びミキサー食等の個別対応を随時行いました。

6 一時入所

社会適応が困難な高齢者の一時的な宿泊を受け入れ、生活習慣の指導・支援を行うとともに、体調の調整を図りました。

7 家族・身元引受人との交流

年2回発行する「苑だより」を送付し、入所者の生活や行事の様子をお知らせしました。

また、必要に応じて入所者の状態の変化や近況の報告を面会時や電話にて行い、連携が密になるように努めました。

II 訪問介護事業

1 身体介護

食事、排泄、入浴等日常生活動作全般における介助や見守りにより、より安全で安心した生活が継続できるよう支援しました。

また、コミュニケーションを密にとることにより、利用者の心の充実と意欲向上を図りました。

2 家事援助

居室の清掃、衣類の洗濯や日用品の整理等、必要に応じた援助を行うことにより、衛生面に配慮した生活環境を整えました。

(松 楽 苑)

(1) 入・退所者の状況

(単位：人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
50	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
	在所者	38	38	38	37	37	37	37	37	37	36	36	35	

※前年度末在所者 38人 令和2年度年間利用者延べ人数 13,531人

(2) 措置機関別在所者状況 (令和3年3月31日現在)

(単位：人)

措置機関名	人数
草加市福祉事務所	30
川口市福祉事務所	3
八潮市福祉事務所	1

措置機関名	人数
足立区福祉事務所	1
合計	35

(3) 年齢分布表 (令和3年3月31日現在)

(単位：人)

性別	年齢	61歳	66歳	71歳	76歳	81歳	86歳	91歳	96歳	合計	平均 年齢
	～	～	～	～	～	～	～	～			
	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳			
男性	0	2	2	3	5	2	2	0	16	81歳	
女性	0	1	2	5	7	0	2	2	19	82.9歳	
合計	0	3	4	8	12	2	4	2	35	82.1歳	

最少年齢=67歳 最高年齢=99歳

(4) サービスの提供状況（特定施設入居者生活介護）

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	5	2	1	14
5月	3	3	5	2	1	14
6月	3	2	5	2	1	13
7月	3	2	5	2	1	13
8月	3	2	5	2	1	13
9月	4	2	5	2	1	14
10月	4	2	5	2	1	14
11月	4	2	5	2	1	14
12月	4	2	5	2	1	14
1月	4	2	5	2	1	14
2月	4	2	5	2	1	14
3月	4	2	5	2	1	14
合計	43	26	60	24	12	165

(5) 一時入所

（単位：人・日）

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用者数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
利用日数	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	13	0	24

(6) クラブ活動

内 容	実 施 日	指 導 者	回数	構成員
3B体操	毎週月曜日	増村様・篠田様	15	全 員
レクリエーション	毎週水曜日	担当職員	45	随 時
ビデオ鑑賞	毎週木曜日	担当職員	44	随 時

(7) 各種行事

実 施 日	行 事 名
6月1日	開苑記念行事
7月29日	夏祭り
8月5日、17日	盆供養（迎え火・送り火）
9月17日	敬老会
10月28日、29日	お楽しみ外出
12月24日	クリスマス会
1月7日	新年会
2月2日	節分
3月25日	花見昼食会
7月20日・9月28日・11月16日	ハーモニカ慰問
6月22日、25日、26日、29日・ 7月30日・8月31日・9月30日・ 10月23日・12月22日・ 1月26日、27日・2月22日・ 3月24日	誕生者会

(8) ボランティア受入状況

(単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
園 芸	23日	23人

(訪問介護事業所)

(1) サービスの実施状況

令和2年度年間利用者延べ人数 7,781人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月利用実人数	2	2	5	2	1	12
4月訪問回数(合計)	77	145	254	121	74	671
5月利用実人数	2	2	5	2	1	12
5月訪問回数(合計)	91	153	241	122	52	659
6月利用実人数	2	2	5	2	1	12
6月訪問回数(合計)	86	151	254	119	20	630
7月利用実人数	2	2	5	2	1	12
7月訪問回数(合計)	95	146	239	116	81	677
8月利用実人数	2	2	5	2	1	12
8月訪問回数(合計)	86	144	239	123	82	674
9月利用実人数	2	2	5	2	1	12
9月訪問回数(合計)	96	141	231	125	81	674
10月利用実人数	3	2	5	2	1	13
10月訪問回数(合計)	134	109	212	123	83	661
11月利用実人数	3	2	5	2	1	13
11月訪問回数(合計)	146	113	212	105	77	653
12月利用実人数	4	2	5	2	1	14
12月訪問回数(合計)	117	119	231	122	84	673
1月利用実人数	4	2	5	2	1	14
1月訪問回数(合計)	91	103	197	111	70	572
2月利用実人数	3	2	5	2	1	13
2月訪問回数(合計)	100	102	193	107	73	575
3月利用実人数	3	2	5	2	1	13
3月訪問回数(合計)	123	118	216	129	76	662
年間利用実人数	32	24	60	24	12	152
年間訪問回数(合計)	1,242	1,544	2,719	1,423	853	7,781

草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森

I 就労移行支援事業

1 職場実習

新型コロナウイルスの影響により活動できる期間に制限がありましたが、事業所や企業における職場実習を実施することで、就労への意欲が高められるよう支援するとともに、職場実習受入先の企業等の確保及び開拓に努めました。

2 求職活動の支援

草加市障害者就労支援センターや東部障がい者就業・生活支援センターみらいなどの関係機関と連携を図り、利用者の適性や要望に応じた職場開拓に努めました。

3 職場定着支援

就労後も安定した就労が持続するよう、関係機関と連携し、本人及び就職先の支援を行いました。

4 生産活動

生産活動を進める上においては、基礎体力や作業能力の向上、持続力や集中力の向上、さらには職場における協調性を意識することが重要であることから、基本的な職場規律や社会規律が体得できるよう支援しました。

5 訓練プログラム

一般就労に必要な基礎知識を学ぶ座学やワークサンプルを活用し、就労への資質と意欲の向上に繋がるよう支援しました。

また、個々の状況に応じたプログラムを提供し、就労に向けた課題を克服できるよう支援しました。

6 施設外作業

施設外において施設とは違った環境と体制の中で作業を行うことで、就労への意欲向上に繋がるよう支援しました。

II 就労継続支援B型事業

1 生産活動

新型コロナウイルスの影響により、安定した作業提供が困難な状況でありましたが、企業からの受注作業の新規開拓、確保に努めるとともに、作業の効率化を図りました。

また、利用者が作業を習得できるように、支援体制を強化するとともに、利用者一人ひとりの能力や特性に応じて作業内容を工夫し、働く習慣と態度を身に付けることができるよう支援しました。

2 施設外作業

施設外での作業を行い、安定した作業収入を図りました。

3 就労への移行

利用者の就労意欲を引き出し、知識及び能力が高まった方を対象として、就労へ

の移行に向けた支援を行いました。

4 生活支援

自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援しました。

III 健康管理

毎朝、出勤前の体温測定、手洗い、消毒を実施し、体調管理ができるよう支援しました。

また、一年に1回、健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握するとともに、保護者へ健康診断の結果について報告し、情報の共有を図りました。

IV 相談援助

利用者や家族等からの相談には適切に素早く、きめ細やかに対応するとともに、個人面談を行い、充実した日常生活や社会生活が送れるよう支援しました。

V 食事の提供

栄養士による栄養管理の下、旬の食材を取り入れた献立を作り、利用者の疾患や身体状況に応じた食事の提供を行いました。

また、季節に合わせた行事食、バイキングメニュー、選択メニューを取り入れるなど、食事が楽しめる工夫を行いました。

新型コロナウイルス感染予防のため、シールドの設置、座席の間隔を空ける等、安全に食事ができるよう環境整備を行いました。

VI 地域交流

新型コロナウイルス感染予防のため、施設行事は縮小して実施し、地域行事に関してはすべて中止となりました。

VII 相乗り送迎

利用者の高齢化に伴い、利用要件を設け、安心、安全に通所できるよう、そよかぜの森マイクロバスによる相乗り送迎を開始しました。

(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

(1) 訓練等給付費支給市町別の利用者状況 (令和3年3月31日現在)

(単位:人)

支給市町村名	就労移行 支援事業	就労継続支援 B型事業
草加市	0	50
越谷市	0	13
八潮市	0	1
松伏町	0	1
吉川市	0	1
合計	0	66

(2) 入退所の状況

①就労移行支援事業

(単位:人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
6	入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4
	在所者	4	3	3	3	3	3	3	3	3	1	0	0	

※就労アセスメント入所者1名

令和2年度年間利用者延べ人数 607人

②就労継続支援B型事業

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
74	入所者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	退所者	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	4
	在所者	69	69	69	69	69	69	67	67	66	66	66	66	

令和2年度年間利用者延べ人数 15,969人

(3) 年齢別分布表 (令和3年3月31日現在)

①就労移行支援事業

(単位:人)

性別	年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳			
	19	29	39	49	59				
	歳	歳	歳	歳	歳				
男性		0	0	0	0	0	0	0	0歳
女性		0	0	0	0	0	0	0	0歳
合計		0	0	0	0	0	0	0	0歳

②就労継続支援B型事業

年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
性別	19	29	39	49	59			
	歳	歳	歳	歳	歳			
男性	2	6	10	12	9	2	41	41.2歳
女性	1	2	8	6	6	2	25	44.1歳
合計	3	8	18	18	15	4	66	42.3歳

※ 最少年齢 19 歳 最高年齢 69 歳

(4) 職場実習等

事業者名	人数	作業内容
(株) マーノ	1	クレート洗浄・清掃
(株) マルヤ	1	食品加工センターでのパック詰め、ラベル貼り

(5) 就職先

事業者名	人数	作業内容
(株) マルヤ	1	食品加工センターでのパック詰め、ラベル貼り
(株) リクルートスタッフィングクラブ	2	手すき紙による販促物の製造

(6) 加工事業

業者名	作業品目
(資) 釜屋商店	お灸の筒の組み立て、お灸のサンプル組み立て等
(株) 日本化学産業	建築用部品の加工
(株) ゴークラ	色画用紙・ケント紙の袋入れ、シール貼り等
(株) イワコー	消しゴムの組立
SBS三愛ロジスティクス(株)	段ボール仕切りパッキン作成
(株) ワタナベ	箱折り
(合) Lead Block	銀のさら 宅配用お箸セット作成
草加市上下水道部	使用済水道メーターの分解
森紙器(株)	箱折り
更新(株)	防塵マスク用ゴム紐の部品取り付け等
(有) 公平紙巧	丸メンコのバリ取り
(株) アークス	チラシ封入、チラシ折り
(株) グローバルメディアネット	額絵封入、チラシ折り

(7) 受託事業

業者名	作業品目
SBS三愛ロジスティクス(株)	段ボール組み立て
草加市都市整備部みどり公園課	公園の清掃
草加市上下水道部	水源地の草刈り

(8) 販売事業

作業名	生産品目
印刷	名刺、年賀状、議会ニュース、チラシ、封筒等
農作業	サツマイモ、ジャガイモ、長ネギ、夏みかん等
菓 菓	各種マドレーヌ、小松菜マフィン、彩のマカローヌ等
自動販売機	自動販売機の管理

(9) 年間作業収入

(単位：円)

加工事業収入	受託事業収入	販売事業収入	収入合計
9,840,748	4,534,430	6,315,301	20,690,479

(10) 工賃支給額

(単位：円)

支給月	就労移行支援事業			就労継続支援B型事業		
	支給者数	支給額	平均工賃	支給者数	支給額	平均工賃
4月	3人	34,700	11,567	65人	1,491,700	22,949
5月	3人	17,000	5,667	68人	505,700	7,437
6月	3人	14,462	4,821	67人	487,690	7,279
7月	3人	21,500	7,167	67人	675,400	10,081
8月	3人	25,200	8,400	67人	758,000	11,313
9月	3人	32,400	10,800	67人	1,039,700	15,518
10月	3人	31,100	10,367	66人	929,100	14,077
11月	3人	19,100	6,367	67人	625,300	9,333
12月	3人	38,921	12,974	66人	1,128,331	17,096
1月	3人	38,400	12,800	65人	1,668,400	25,668
2月	3人	16,900	5,633	65人	704,900	10,845
3月	0人	0	0	62人	887,000	14,306
年間	33人	289,683	8,778	792人	10,901,221	13,764

(11) 年間行事

実 施 日	行 事 名
4月1日	入所式
6月26日	バイキング給食
6月30日	防災訓練
9月18日	お楽しみ会夏祭り
11月24日	そば商組合交流会
11月30日	健康診断
12月18日	お楽しみ会
1月8日	成人を祝う会 バイキング給食
3月23日	お楽しみ会
3月30日	防災訓練

(12) クラブ活動

クラブ名	内 容
鑑賞	利用者の好みに合わせたDVD鑑賞を行いました。
ダンス	音楽に合わせて皆でダンスをしました。9月のお楽しみ会夏祭り、12月・3月のお楽しみ会にて、ダンス練習の成果を発表しました。
芸術	お絵描や塗り絵やゲーム（オセロ・将棋・ブロック・ジェンガ・カードゲーム）音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。
カラオケ 合唱	各自が歌を選び、カラオケを楽しみました。また、様々な歌の合唱も行いました。

(13) ボランティア受入状況

作 業 内 容	活動日数	延べ人数
作業支援、つばさの森まつりなど	0	0

(14) 特別支援学校など実習生受入状況

学 校 名	人 数
草加かがやき特別支援学校	3
三郷特別支援学校	1
介護等体験	2

草加市総合福祉センター であいの森

I 高年者福祉センター事業

1 講座の開催と利用の促進

健康増進及び教養の向上並びに利用される方々の交流等を目的として、継続して各種講座を開催しました。とりわけ、平成30年度からスタートした「であいの森かけはしサロン」については、これまでの事業内容や実績を踏まえ、さらなる内容の充実を図りました。

また、介護予防の観点から新たに「であいの森すまいる広場」を12月より開講しました。利用者が自宅に籠りがちにならないように定期的実施し、自由に足を運んでいただける場の提供を行いました。

講座の内容については、利用者へアンケートを実施することにより常に見直しを図り、利用者満足度の向上に努めました。

2 生活・健康等の各種相談の実施

心身の健康維持や疾病予防のため、専門職員が適切な相談、援助を行うことで高年者の生活を支援しました。

3 すこやかクラブやサークル等の団体活動の支援

サークルの代表者等との連絡を密にし、円滑かつ自主的な活動が行えるよう支援しました。

また、すこやかクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一年間提供中止となりました。

4 施設利用の促進

特色のある催し物等の開催や施設の周知に努めるとともに、より多くの方々が施設を利用できるよう、その利便性を図るため、大型バスによる送迎サービスを実施しました。

5 入浴サービス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一年間入浴サービスの提供が中止となりました。

6 貸館事業の促進

市民に対し、施設・設備の利用を広く宣伝し、貸館事業の利用促進に努めました。

II 身体障害者福祉センター事業

1 更生相談

障がい者及びその家族等に対し、関係機関との連携の下、生活や就業等に関わる各種の相談に応じました。

2 機能訓練

医師の指示に基づき、専門職等が身体機能の維持・回復を目的に訓練を実施し、安全な日常生活動作の習得と社会参加の促進を図りました。

3 各種教養講座等

ボッチャ講座では、身体に障がいのある方及びその家族等を対象とし、軽度から重度の障がいのある方まで、全ての方が参加し楽しむことができる障がい者スポーツとして実施しました。

また、草加市内においての同スポーツの普及と発展のため、東京パラリンピックに向けて、地域とともに盛り上げていくことを目的とし開催しました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、必要に応じて休止や時間短縮等、参加者の安全に配慮して実施しました。

その他の講座については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送りました。

4 送迎サービス

機能訓練利用者に対し、リフト付きバスにて自宅まで送迎を行いました。

また、土曜日、日曜日に講座参加等で、施設を利用する身体に障がいのある方に対して、施設最寄りの駅までの送迎を予約制にて実施しました。

5 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止のため、感染症対策の見直しを行い、手洗い・手指消毒、マスクの着用に加え、送迎バス乗車前の検温・手指消毒、私物等（杖・車椅子）の消毒等、感染症対策を強化してサービスの提供に努めました。

Ⅲ 地域活動支援センター事業

1 基本サービス

(1) 創作的活動

創作的活動を通して、個々の創造力や感性を高めるとともに、協働して取り組む中で、利用者同士が互いの障がいを理解しながら、集団生活における社会性を養いました。

また、園芸・創作等の活動を通して、自然や季節を感じることにより、心の豊かさを得られるよう努めました。

(2) 機能訓練

個々の生活実践プログラムの実施により、身体機能・生活能力の維持・向上を図ると共に、日常生活の充実に繋がるよう努めました。

(3) 介護方法の指導

利用者及び家族の介護に関する相談等を受ける中で、介護方法の指導助言を行いました。

(4) 社会適応訓練

個別支援計画書に基づき、日常生活、社会生活における個々の課題を確認し、家族や関係機関等と協力しながら、個別訓練を実施しました。

(5) 更生相談

利用者及び家族等から生活や就業等に関する様々な相談に応じるとともに、必

要に応じ、関係機関との連絡・調整を図りました。

(6) スポーツ・レクリエーション

安全かつ楽しくスポーツ・レクリエーションができる機会を提供することにより、体力の維持・向上を図りました。

(7) 健康指導

バイタルチェックを行うことにより、利用者の心身の健康状態を把握し、日中活動が安全に行えるよう努めるとともに、随時、健康相談を実施しました。

(8) 医療的サービス

利用者の心身の状況に応じ、看護職員による医療的な処置を行いました。

2 食事サービス

栄養士による栄養管理の下、利用者の体調や身体状況等に応じた給食やおやつを提供しました。

また、旬を感じさせる食材や行事食等を提供することにより、食を通して季節感を味わえるよう努めました。

3 送迎サービス

自主通所の難しい市内在住者の利用者に対し、リフト付きバスによる送迎サービスを行いました。

4 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方を対象に、身体の衛生保持と安全な入浴方法の習得を目的とした入浴サービスを行いました。

5 特別プログラム

新型コロナウイルス感染予防の観点から外出活動等の実施は中止しました。代替プログラムとして創作活動やレクリエーション活動を拡充して日常生活の活力向上、余暇活動の充実を図りました。

6 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止のため、感染症対策の見直しを行い毎日のバイタルチェック、手洗い・手指消毒、マスクの着用に加え、送迎バス乗車前の検温・手指消毒、活動中のフェイスシールドの着用、食事やおやつの提供時に卓上パーテーションを使用する等の対策強化を行いました。

IV 軽食喫茶事業

1 軽食喫茶

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館や利用の制限により利用者が減少したことで、9月1日から提供メニューの縮小を行いました。

2 外部販売

地域のイベントが中止になり、模擬店の出店はありませんでした。

3 衛生管理

職員の細菌検査等の実施や手洗い等の励行により、衛生管理の徹底を図りました。

V 生きいき元気サロン事業

1 相談援助

利用者からの相談を受け、援助が必要な場合は、関係行政機関や地域包括支援センター等と連携しながら支援を行いました。

2 日常動作訓練・創作活動等

日常動作に用いる身体機能の維持・向上及び心身の活性化が図れるよう、軽い運動や外出活動を行いました。

また、創作活動として、身の回りにある物を使い、指先の運動や脳の活性化を図りました。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者に対して、ご自宅まで安全な送迎サービスを行いました。

4 食事サービス

利用者の健康に配慮し、栄養バランスの取れた食事サービスを実施しました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 令和2年度年間利用者延べ人数 17,183人

(2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9)の合計値

(2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	5,394

(3) 教養講座の開催

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延人数	
		高年者		高年者	
5月7日～8月20日	スローストレッチで筋力アップ	27	4	85	
5月11日～8月31日	フラダンス教室	10	5	40	
5月13日～3月10日	かけはしサロン	10	3	27	
5月20日～8月19日	楽しく歌おう	20	5	88	
5月22日～9月23日	折り紙を楽しもう	12	0	0	
6月10日～3月10日	苔玉作り	6	0	0	
7月7日～9月15日	Let's!!リズム体操	15	6	69	
9月10日～11月26日	水彩画を楽しく描こう	6	6	32	
9月11日～11月27日	季節を感じよう俳句講座	11	6	60	
9月14日～12月21日	バランスコーディネーション～歪みを矯正しよう	20	8	142	
10月1日～12月3日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	106	
11月22日～12月15日	手芸講座～軍手で作ろう～丑～	10	0	0	
12月10日～3月24日	すまいる広場	10	5	41	
1月6日～3月17日	絵手紙教室	13	1	11	
1月8日～3月26日	Let's!!リズム体操	20	2	23	
1月19日～3月23日	体幹を鍛えようヨーガ教室	20	1	12	
				合計	736

(4) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	0	0	0	0	0	0		
利用者数	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
団体数	0	0	0	0	0	0	0	212
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	2,995

(5) 高年者の送迎サービスの状況 (一般) (単位:人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
午前便	0	0	0	131	104	112		
午後便	0	0	0	27	17	34		
計	0	0	0	158	121	146		
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
午前便	145	158	146	29	0	13	838	16,962
午後便	71	78	63	4	0	8	302	8,382
計	216	236	209	33	0	21	1,140	25,344

(6) 浴室利用状況 (単位:人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
男	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
男	0	0	0	0	0	0	0	33,946
女	0	0	0	0	0	0	0	21,860
計	0	0	0	0	0	0	0	55,806

(7) サークルの活動状況（令和3年3月31日現在）※活動実績のあるサークルのみ表示

サークル名	会数	活動回数	サークル名	会数	活動回数
青柳クラブ	9	27	草加ハナレイ・フラサークル	8	23
アカリダンスサークル	11	24	草加ハーモニカ同好会	5	13
絵手紙工房	10	6	太極拳サークル	23	18
かがやき	13	3	ダンス レモン	8	20
カサブランカ	23	24	稚心会	17	13
華道 千草会	5	15	どれみサークル	4	9
がんばろうクラブ	15	8	にこにこ体操クラブ	37	21
ギターサークル であい	8	23	ねんどの会	9	26
杵柄会 あじさいクラブ	13	15	美書ペンクラブ	22	12
杵柄会 三味線クラブ	6	15	フレンドリーダンスサークル	17	27
杵柄会 日本舞踊クラブ	9	19	まあがれっと	2	18
杵柄会 民謡クラブ	18	14	マイ スマイル	7	6
K Sカラオケクラブ	7	10	マリンバ・アンサンブル'99	4	27
琴 こでまり	4	5	みつぼしクラブ	15	25
埼玉県スポーツウエル ネス吹矢協会	15	23	メープル英会話クラブ	17	26
彩悠クラブ	7	6	森のオカリナ	9	26
サクラクラブ	5	24	釉友くらぶ	10	26
桜草サークル	6	8	友和会	13	14
視覚障がい者 虹の会	5	13	よさこい彩女	19	22
シルバーコーラス	32	2	楽々会	5	5
ストレッチ体操 空	41	23	わかばの会	8	12

(8) 研修室等の利用状況

() …団体数 (単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研修室1・2	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(27) 306	(16) 208	(20) 276	
研修室3・4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(32) 469	(31) 360	(36) 488	
茶・華道室	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(21) 154	(11) 100	(11) 82	
教養文化室	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(58) 595	(52) 483	(66) 711	
工 房 (陶・和粧)	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 114	(9) 96	(7) 88	
その他 (和粧室)	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(9) 188	(5) 80	(7) 127	
開放施設	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 292	(0) 835	(0) 846	
合 計	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(155) 2,118	(124) 2,162	(147) 2,618	
月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
研修室1・2	(22) 299	(23) 316	(25) 276	(7) 81	(0) 0	(3) 31	(143) 1,793
研修室3・4	(31) 460	(29) 401	(25) 371	(7) 98	(0) 0	(5) 52	(196) 2,699
茶・華道室	(15) 115	(18) 145	(9) 54	(6) 59	(0) 0	(1) 10	(92) 719
教養文化室	(63) 748	(61) 595	(61) 656	(22) 225	(0) 0	(4) 26	(387) 4,039
工 房 (陶・和粧)	(9) 122	(8) 106	(8) 108	(2) 20	(0) 0	(0) 0	(51) 654
その他 (和粧室)	(7) 135	(7) 126	(9) 176	(1) 8	(0) 0	(1) 14	(46) 854
開放施設	(0) 970	(0) 1,351	(0) 1,246	(0) 0	(0) 0	(0) 148	(0) 5,688
合 計	(147) 2,849	(146) 3,040	(137) 2,887	(45) 491	(0) 0	(14) 281	(915) 16,446

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(身体障害者福祉センター事業)

- (1) 令和2年度年間利用者延べ人数 476(31)人
 (2) + (5) + (6)の合計値

- (2) 機能回復訓練利用状況(延べ人数)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		日数	9	8	9	9	8	9	
利用者数	男性	18	21	21	24	24	32		
	女性	6	7	10	4	3	3		
	合計	24	28	31	28	27	35		
1日平均利用者数		2.7	3.5	3.4	3.1	3.4	3.9		
健康確認及び指導		24	28	31	28	27	35		
評価		2	3	4	2	4	2		
診察		2	3	2	2	4	0		
介護方法の指導		2	3	2	2	4	2		
更生相談		2	3	2	2	4	2		
送迎	往路	24	28	31	28	27	35		
	復路	24	28	31	28	27	35		
区分		月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		日数	9	8	8	8	8	8	9
利用者数	男性	31	28	24	12	(13)	20(12)	268(25)	
	女性	5	4	4	2	(3)	4(3)	55(6)	
	合計	36	32	28	14	(16)	24(15)	323(31)	
1日平均利用者数		4.0	4.0	3.5	1.8	2.0	2.7	3.2	
健康確認及び指導		36	32	28	14	16	24	323	
評価		2	3	2	2	0	0	26	
診察		2	3	2	0	0	1	21	
介護方法の指導		2	3	2	0	0	1	23	
更生相談		2	3	2	0	0	1	23	
送迎	往路	36	32	28	14	0	8	291	
	復路	36	32	28	14	0	1	284	

※2月、3月の()内の数値は在宅支援の人数となります。

(3) 機能回復訓練登録者年齢別状況

年齢区分	18歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	総計	平均年齢
	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳			
男	1	0	3	4	0	2	10	53.1歳
女	0	0	0	0	3	0	3	64.7歳
合計	1	0	3	4	3	2	13	55.8歳

(4) 嘱託医(整形外科)評価・診察状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
人	男性	4	3	4	4	7	1		
	女性	0	0	2	0	1	1		
数	合計	4	3	6	4	8	2		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
人	男性	4	6	2	2	0	1	38	
	女性	0	0	2	0	0	0	6	
数	合計	4	6	4	2	0	1	44	

(5) 送迎サービス(シャトルバス)の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
往路	0	0	0	4	5	5		
復路	0	0	0	4	6	5		
計	0	0	0	8	11	10		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
往路	5	4	3	0	0	4	30	
復路	5	5	5	0	0	5	35	
計	10	9	8	0	0	9	65	

(6) 各種教養・心身向上講座

開催期間	講座名	回数	受講者数	延べ人数
4月～3月	「ボッチャ教室」 ※全12回中、4月、5月、6月、1月、2月の5回は中止	7	88	88
合計		7	88	88

(地域活動支援センター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和2年度年間利用者延べ人数 4,285人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
営業日数		22	21	22	23	21	22	22	21	
月間利用者数	実人数	45	43	46	46	41	43	43	41	
	延べ人数	389	421	399	421	373	380	379	365	
一日平均利用者数		17.7	20.0	18.1	18.3	17.8	17.3	17.2	17.4	
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	311	268	337	385	332	353	363	350
		復路	309	264	334	378	330	346	360	347
		計	620	532	671	763	662	699	723	697
	入浴サービス	56	54	54	67	55	57	60	57	
	給食サービス	323	286	348	397	344	328	371	359	
		12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度		
営業日数		20	9	15	23	241	20.1	257		
月間利用者数	実人数	40	37	42	44	511	357.1	570		
	延べ人数	352	150	273	383	4,285		4,946		
一日平均利用者数		17.6	16.7	18.2	16.7		17.8	19.2		
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	337	140	224	334	3,734	311.2	4,501	
		復路	336	139	224	331	3,698	308.2	4,720	
		計	673	279	448	665	7,432	619.3	9,221	
	入浴サービス	53	23	28	47	611	50.9	818		
	給食サービス	344	143	234	347	3,824	318.7	4,744		

* 上記数字は在宅支援を含む実績です。

* 1月15日～2月7日 新型コロナウイルス感染防止のため臨時休業

(2) 在宅支援者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
月間利用者数	実人数	21	21	6	4	3	2	1
	延べ人数	54	130	46	18	25	11	2
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月間利用者数	実人数	0	2	2	8	7	77	6.4
	延べ人数	0	7	5	34	32	364	30.3

(3) 契約者状況 (全 48 名)

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

区分 年齢	区分なし			区分 1			区分 2			区分 3		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
39 歳～48 歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
49 歳～58 歳	3	1	0	0	0	0	0	0	2	3	1	2
59 歳～65 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	3	0	0	0	0	0	2	3	4	3	3
前年度合計	8	3	1	0	0	0	0	3	4	4	3	0

区分 年齢	区分 4			区分 5			区分 6		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29 歳～38 歳	0	0	0	2	0	0	1	0	0
39 歳～48 歳	0	6	0	2	3	0	1	0	0
49 歳～58 歳	0	1	0	2	2	0	1	0	0
59 歳～65 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0
65 歳～	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	8	0	6	5	0	3	1	0
前年度合計	2	8	0	8	3	0	3	1	0

(4) 新規利用者・利用終了者

新規相談者		男	女	終了者		男	女
		未契約数	5			0	辞退 (入所・他施設移行等)
契約数 (新規利用)	4	1	死亡	0	0		
合計	9	1	65 歳到達	1	0		
			合計	8	1		

(5)年間実施行事

実施期間	活動名	内容・備考
4月1日～13日	オリエンテーション	
4月～2月(計30回)	スポレク	バドミントン・卓球・テニス カローリング・グランドゴルフ ボッチャ
5月11日～27日 3月8日～25日	曜日対抗レク	アレンジボーリング Wii ボーリング
5月26日・29日 (全2回)	プランター園芸	プランターに植物の種子や苗を植える
7月20日～24日	夏祭り	各曜日実施。 輪投げ・射的・ヨーヨー釣り スーパーボールすくい お菓子のつかみ取り
6月13日～22日 (全5回) 5月13日～29日 (全5回) 8月17日～26日 (全5回) 11月24日～30日 (全5回) 3月1日～17日 (全5回)	持ち帰り創作	シルクスクリーンを使用したコースター作り バンダナを使用した手作りマスク シルクスクリーンを使用したエコバック作り LEDを使用したクリスマスリース作り オリジナルTシャツのデザイン作り
10月12日～16日 (全5回)	運動会	各曜日実施 玉入れ・借り物競争・ジュース飲み 大玉転がし・綱引き・お手玉送り等 チームの結果で景品を提供
10月30日 11月19日	ゲスト交流	じっきいさん (大道芸) ケチャップ先生 (科学実験)
12月21日～25日	クリスマス会	各曜日実施 玉入れ・宝探し・ストラックアウト ミニ野球・ボーリング 職員による出し物 (二人羽織) おやつにケーキ・ポップコーン・ジュースを提供
1月4日～13日 (全4回)	書初め	書初め・書道展開催
2月8日～12日	臨時オリエンテーション	1月15日～2月7日 新型コロナウイルス感染防止のためサービス休止 再開にあたり利用者へ説明等を実施
2月15日～19日	バレンタイン	おやつにてパフェの提供

2月16日～25日 (全5回)	カレンダー創作	令和3年度カレンダー作成(持ち帰り)
3月16日～24日 (全5回)	年間振り返り	令和2年度の活動の写真を皆で鑑賞 休憩時間のおやつにはコーヒーとケーキを提供

(5) ボランティア受入状況

活動内容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア スポーツボランティア 演芸ボランティア	20	21

*新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ規模を縮小しました。

(軽食喫茶事業)

(1) レストラン利用者状況

令和2年度年間利用者延べ人数 117人

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
利用者数	0	35	82	0	0	0	117	13,070

*新型コロナウイルス感染防止のため、営業を中止しました。

草加市在宅福祉センター きくの里

I 高年者デイサービス事業

1 健康確認

利用者の健康状態を把握するため、血圧、脈拍及び体温の測定を行い、必要があると認めるときは適切な助言を行いました。

2 生活相談

利用者及びその家族等から、デイサービスに関する相談や介護に関する相談を受け、適切な助言等を行いました。

3 入浴サービスの提供

家庭での入浴が困難な利用者に対し、特殊浴槽や一般浴槽を使用し、利用者の身体状況に合わせた入浴方法でサービスを提供しました。

4 送迎サービス

リフト付きバス等で施設からご自宅までの送迎を行いました。

5 食事サービス

利用者の健康に配慮し、栄養バランスの取れた食事サービスを提供しました。

6 機能訓練

身体機能の維持・向上のため、軽体操、四肢運動、レクリエーション等や認知症予防のための脳トレ等を行いました。

7 口腔ケア

口腔機能の維持・向上のため、口腔ケア体操及び歯科衛生士による口腔チェックを行い、必要に応じた口腔指導を行いました。

8 介護サービス

要介護者の状況に合わせた通所介護計画を作成し、その計画に基づいたサービスの提供を行いました。

9 介護予防・生活支援サービス事業

要支援の認定及び事業対象者の判定を受けた利用者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防通所介護計画を作成し、その計画に基づいたサービスの提供を行いました。

10 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、利用者及び職員にはマスクの着用、手指消毒、日々の体温計測等をお願いし、併せて、施設内においては使用器具等の消毒、テーブルへのパーテーションの設置を行い、感染防止を図りました。

また、カラオケの実施の中止やボランティアの受入れ制限等を行いました。

11 その他

連絡帳を通して、施設と利用者及び利用者家族間の情報交換を行うことにより、利用者の状況を把握することで、利用者一人ひとりに合ったサービスの提供ができるよう努めました。

II 居宅介護支援事業

1 居宅介護支援

- (1) 利用者からの依頼により、在宅で日常生活を営むために必要な介護保険の居宅サービス等のサービスを適切に利用することができるよう、利用者や家族の意向を確認し、特定のサービス事業所に偏ることのないよう、公正・中立な立場で居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。
- (2) 居宅サービス計画に基づき、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス等が提供されるよう、サービス提供事業者やその他関係者との定期的な連絡調整を行い、必要に応じて担当者会議を開催しました。
- (3) 利用者が介護保険施設等への入所を要する場合には、介護保険施設等の情報提供その他の便宜を図りました。
- (4) 居宅サービス計画の作成後、利用者宅への訪問や関係機関との連絡を継続的に行うことにより、利用者の状態やサービスの実施状況を確認、評価をして解決すべき課題の把握を行い、必要に応じて、居宅サービス計画の変更、事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。

2 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、職員はマスクの着用、手指消毒、日々の体温計測等をして体調管理をし、併せて、訪問時は利用者にはマスクの着用及び体温計測をお願いしました。

また、事務所においてはテーブルへのパーティションの設置等を行い、感染防止に努めました。

3 その他

- (1) 市区町村から要介護認定申請に係る調査を委託された場合、介護支援専門員が介護認定調査員として調査業務を行いました。
- (2) 居宅介護支援に関わる市区町村への申請手続を代行しました。
- (3) 介護保険の対象となる住宅改修や福祉用具購入等に関わる理由書等の作成の支援を行いました。

III 地域包括支援センター事業

1 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援

- ① 個々の高年者がどのような支援が必要かを的確に把握し、適切なサービスの提供、関係機関や制度の利用に繋げる等の支援を行いました。
- ② 介護サービス事業者等の関係機関や民生委員、町会、高年者の生活に関わる様々な社会資源とのネットワークづくり（地域包括支援ネットワークの構築）に努めました。
- ③ 介護についての各種相談に総合的に応じるとともに、家族介護者の支援や認知症に関する相談及び認知症予防のための普及啓発に関する事業等を行いました。

した。

- ④ 認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方及びその家族が状況に応じて必要な医療・介護等のサービスが受けられるように関係機関との連携体制の構築に努めました。

(2) 権利擁護

- ① 多くの課題を抱えていたり、援助を拒否したり、適切なサービス等に繋がる方法が見つからない等の理由で支援困難な状況にある高年者が、地域において、安心して、尊厳のある生活を送ることができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行いました。
- ② 成年後見制度の活用、老人福祉施設等への措置の支援、高年者虐待への対応、支援困難事例への対応、消費者被害の防止に対応するため各々の制度を活用し、高年者の生活や権利を支援しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ① 地域の高年者及びその家族の個別支援における包括的・継続的なケアを実施するために、介護サービス事業者、医療機関等の関係機関及び地域のインフォーマルサービスとの連携体制を構築し、地域における連携・協力体制の整備を行いました。
- ② 介護支援専門員に対する日常的個別指導・相談、支援困難事例等への指導・助言を行いました。
- ③ 個別、または圏域における地域ケア会議を開催し、不足している社会資源の把握や地域課題の整理に努めました。

また、草加市で開催する自立支援型地域ケア会議へ出席しました。

(4) 認知症総合支援

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方が容態に応じて必要な医療・介護等のサービスを受けられるよう、関係機関との連携体制の構築や認知症の方や家族等への相談支援を行いました。

また、地域での認知症に関する取組を推進し、市民が認知症に関する知識を深められよう努めました。

(5) 在宅医療・介護連携

在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、関係者間の連携を図る取組を実施しました。地域資源の開発や関係者間の情報共有・連携を図り、ネットワーク構築を行い、生活支援サービスの体制整備に努めました。

(6) 介護予防ケアマネジメント

要介護状態等となることの予防または自立した日常生活の支援を目的とし、高年者の心身の状況、その置かれている環境や状況に応じて、高年者自らの選択に基づき、適切な事業が包括的かつ効果的に実施されるよう、専門的な視点から必要な支援を行いました。

2 一般介護予防事業

地域の高年者世帯への個別訪問、関係機関との連携を通じて状況把握を行い必要に応じて各種介護予防教室へ繋げるよう努めました。

また、介護予防に関する講座の開催などを通じて、介護予防普及啓発事業を実施しました。

3 指定介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業における要支援者等の介護予防及び日常生活の支援を目的に、利用者の心身の状況、置かれている環境等の状況に応じて、適切な介護予防・日常生活支援総合事業が包括的かつ効果的に提供されるよう、必要な支援を行いました。

4 感染症対策

新型コロナウイルス感染防止対策として、職員はマスクの着用、手指消毒、日々の体温計測等をして体調管理をし、併せて、訪問時は利用者にはマスクの着用及び体温計測をお願いしました。

また、事務所においてはテーブルへのパーテーションの設置等を行い、感染防止に努めました。

IV 生きいき元気サロン事業

1 相談援助

利用者からの相談を受け、援助が必要な場合は、関係行政機関や地域包括支援センター等と連携しながら的確な支援を行いました。

2 日常動作訓練・創作活動等

日常動作に用いる身体機能の維持・向上及び心身の活性化が図られるよう、軽い運動や外出活動を行いました。

また、身の回りにある物を使い、季節に即した小物等の製作を行いました。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者に対して、施設からご自宅まで安全な送迎サービスを行いました。

4 食事サービス

利用者の健康に配慮し、栄養バランスの取れた食事サービスを提供しました。

(高年者デイサービスセンター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和2年度年間利用者延べ人数5,094人

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		営業日数		26	26	26	27	25	26	27
月間利用者数	実人数		53	50	54	51	52	54	54	54
	延べ人数		437	436	476	457	411	464	473	430
一日平均利用者数			16.8	16.8	18.3	16.9	16.4	17.8	17.5	17.2
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	420	399	443	429	397	445	446	416
		復路	426	406	455	439	404	461	467	426
		計	846	805	898	868	801	906	913	842
	健康確認		437	436	476	457	411	464	473	430
	入浴サービス		263	259	268	264	235	265	236	219
	給食サービス		437	436	475	457	411	464	472	430
	日常生活動作訓練		437	436	476	457	411	464	473	430
	運動器機能向上		76	67	87	91	77	77	81	81
	区分		月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度月平均
営業日数			24	24	24	27	307	25.5	25.5	
月間利用者数	実人数		53	44	47	50	616	51.3	63.1	
	延べ人数		397	328	364	421	5,094	424.5	558.4	
一日平均利用者数			16.5	13.7	15.2	15.6	198.7	16.5	21.8	
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	381	316	355	413	4,860	405	548.3	
		復路	391	323	361	417	4,976	414.6	552.5	
		計	772	639	716	830	9,836	819.6	1,100.8	
	健康確認		397	328	364	421	5,094	424.5	558.3	
	入浴サービス		204	176	209	237	2,835	236.2	246.5	
	給食サービス		397	327	364	421	5,091	424.2	558.3	
	日常生活動作訓練		397	328	364	421	5,094	424.5	558.3	
	運動器機能向上		72	47	60	70	886	73.8	102.7	

(2) 要介護度別利用者数 (令和3年3月31日現在)

性別	要介護度	事業対象者	要支援		要介護		要介護	要介護	要介護	合計
			1	2	1	2	3	4	5	
男性		0	0	1	2	2	2	0	0	7
女性		3	4	8	18	8	2	3	3	49
合計		3	4	9	20	10	4	3	3	56
前年度合計		4	4	10	23	12	6	1	2	62

(3) 年齢階層別利用者数

(令和3年3月31日現在)

性別	年齢	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	最少	最高	平均
	～69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳		年齢	年齢	年齢
男性	0	0	0	5	2	0	0	80歳	85歳	83歳
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0			
要支援1	0	0	0	0	0	0	0			
要支援2	0	0	0	0	1	0	0			
要介護1	0	0	0	2	0	0	0			
要介護2	0	0	0	2	0	0	0			
要介護3	0	0	0	1	1	0	0			
要介護4	0	0	0	0	0	0	0			
要介護5	0	0	0	0	0	0	0			
女性	0	0	2	18	13	8	8	76歳	99歳	87歳
事業対象者	0	0	0	2	0	1	0			
要支援1	0	0	0	2	0	2	0			
要支援2	0	0	1	1	5	1	0			
要介護1	0	0	0	5	5	3	5			
要介護2	0	0	1	4	1	1	1			
要介護3	0	0	0	2	0	0	0			
要介護4	0	0	0	2	0	0	1			
要介護5	0	0	0	0	2	0	1			
合計	0	0	2	23	15	8	8	—	—	—

(4) 利用終了者の終了理由

(単位：人)

終了理由	男性	女性	合計
介護保険施設への入所	2	4	6
辞退	2	10	12
死亡	1	0	1
合計	5	14	19

(5) 年間行事

実施期間	内容
5月7日	園芸・野菜の苗植え
5月14日～5月20日	フラワーアレンジメント
6月1日～6月6日	壁飾り作り
6月15日・16日	演芸会
7月13日～18日	夏祭り
9月21日～26日	敬老会
10月12日～10月17日	運動会
11月12日・21日	バーチャル旅行(京都、東京)
11月22日～28日	クリスマスカード作り

12月14日・15日・17日・23日・ 25日・26日	クリスマス会 (手品、ギター演奏、よさこい 踊り)
1月4日～9日	お正月レクリエーション
1月11日～1月16日	干支飾り作り
2月2日・3日	節分豆まき

(6) ボランティア受入状況

活 動 内 容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア	0	0
演芸ボランティア	11	24
アロマハンドケア	8	9

(居宅介護支援事業)

(1) 契約者数の推移 令和2年度年間利用者延べ人数1,967人

年度 月	令和2年度			前年度		
	利用者数 (契約者)	新規	終了	利用者数 (契約者)	新規	終了
4月	163	1	6	163	4	7
5月	163	1	1	163	3	3
6月	159	1	5	164	3	2
7月	157	0	2	165	6	5
8月	160	5	2	164	6	7
9月	169	11	2	168	7	3
10月	172	6	3	169	6	5
11月	170	3	5	169	4	4
12月	168	4	6	172	4	1
1月	165	1	4	169	5	8
2月	163	0	2	169	4	4
3月	158	1	6	168	8	9
合計	1,967	34	44	2,003	60	58
月平均	164			167		

(2) 要介護度別請求人数 (令和3年3月31日現在)

区分	請求人数	
	令和2年度	前年度
要支援	0	0
要介護1	72	72
要介護2	40	48
要介護3	18	16
要介護4	11	9
要介護5	9	9
合計	150	154

(3) 年齢階層別利用者数 (令和3年3月31日現在)

年齢区分	利用者数	
	令和2年度	前年度
～ 64歳	4	8
65歳～69歳	11	9
70歳～74歳	9	10
75歳～79歳	26	37
80歳～84歳	34	27
85歳～89歳	37	34
90歳～	29	29
合計	150	154

(4) 男女別利用者数 (令和3年3月31日現在)

性別	利用者数	
	令和2年度	前年度
男性	53	54
女性	97	100
合計	150	154

(地域包括支援センター事業)

(1) 総合相談支援

令和2年度年間利用延べ件数5,579件

区 分		件 数	
		令和2年度	前年度
1 相談件数	電話	3,912件	3,776件
	来所	228件	270件
	訪問	1,439件	1,462件
	合 計 (年間延べ件数)	5,579件	5,508件
2 権利擁護	成年後見制度に関すること	24 (実件数)	32 (実件数)
	高齢者虐待に関すること	27 (実件数)	49 (実件数)
	合 計	51 (実件数)	81 (実件数)
3 介護予防ケ アマネジメン ト	介護予防サービス計画数	1,299件 (請求件数)	1,195件 (請求件数)
	介護予防・生活支援サービス計画数	987件 (請求件数)	1,243件 (請求件数)
	合 計	2,286件 (請求件数)	2,438件 (請求件数)
	特定高年者決定数	0件	0件
4 包括的・継 続的ケアマネ ジメント	地域包括ケア会議の開催	4回	28回
	事業者交流会の開催	0回	1回
	合 計	4回	29回
	ケアマネジャーからの相談	58件	61件
	サービス事業者からの相談	4件	7件
	合 計	62件	68件
5 その他	地域包括支援センター会議への参加	7回	11回
	保健師・看護師会議への参加	3回	6回
	主任介護支援専門員会議への参加	8回	4回
	社会福祉士会議への参加	4回	7回
	合 計	22回	28回

(2) 地域活動報告

事業内容	実施回数
介護者のつどい	14回
圏域内地域ケア会議（谷塚・瀬崎）	0回
谷塚地区介護予防普及啓発事業	3回
瀬崎地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚地区民生委員意見交換会	1回
瀬崎地区民生委員意見交換会	1回
個別地域ケア会議	6回
圏域内ケアマネ交流会	0回
圏域内事業者交流会	0回
認知症サポーター養成講座	0回
社会福祉協議会年度打合せ	1回
谷塚・瀬崎地域ネットワーク会議	0回
出前講座	0回

草加市高年者福祉センター ふれあいの里

I 高年者福祉センター事業

1 各種事業・講座等の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、知識・教養の向上や運動機能の維持・増進を図ることを目的とした各種教室・講座等を実施し、高年者の生きがいづくりや健康増進と介護予防となる健康大学「ふれあいカレッジ」や「シニア大学まなびあい」に加え、新たに「みんなで楽しく頭の体操」の事業を展開し施設運営及び事業運営に努めました。

また、子供向けの講座も開催し、地域の子供たちの学習と交流の場を提供しました。

2 世代間交流事業

「地域の活性化」と「地域住民との交流」を目的とした世代間交流事業を展開し、交流が図れる機会を作り、より多くの方に充実したサービスの提供に努めました。

ふれあいの里まつりの代替事業として、主催講座の作品展示とふれあいの里15周年のパネル展示を行いました。

3 健康相談・生活相談等の実施

看護師による血圧測定や嘱託医による健康講座を実施し、心身の健康維持や不安の解消等を助言し、介護予防に努めました。

また、利用者が抱える様々な悩みや介護等の不安を軽減できるよう専門職員が生活相談を実施し、安心した生活を送れるよう支援しました。

4 すこやかクラブ、サークル活動団体等の利用促進と育成

すこやかクラブの施設利用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止しました。サークルについては、活動の風景や演目発表を撮影し、ビデオ上映と作品展示を行いました。

5 入浴サービス

経年劣化による漏水が判明し、修繕が必要な状況のため、入浴サービスを休止しました。

6 貸館事業

高年者の余暇活動の充実と交流等の場を提供するため、高年者とそのサークル活動団体を対象に、和室・研修室等の貸出を行いました。

また、地域住民等に対しても、交流広場・多目的室等を開放するほか、和室・研修室等の貸出を行いました。

7 施設利用の促進

利用者のニーズに合わせた事業展開を行い、多くの方が利用できるよう大型バスによる送迎サービスを実施し、施設の利用促進を図りました。

また、利用者や市民からの苦情・要望等を真摯に受け止め、安心・安全で誰もが楽しめる施設利用に努めました。

(高年者福祉センター事業)

- (1) 令和2年度年間利用者延べ人数 12,957 人
 (2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9) の合計値

- (2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	0	0	0	4	0	38		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	16	20	3	0	0	1	82	1,881

- (3) 教養講座等の開催

期 間	講 座 名	回 数	参加延人数
7月4日～12月15日	ふれあいカレッジ	16	233
7月4日～12月15日	シニア大学まなびあい	8	106
9月4日～10月23日	のんびりヨガ	8	112
10月25日	集まれ料理男子	1	8
11月5日～12月3日	かんたんに楽しく水彩画を描こう！	5	30
11月6日～1月22日	初めての俳句教室	6	58
11月28日	ジュニア手作り教室	1	10
12月6日	ジュニアクッキング	1	8
12月7日～21日 3月22日～29日	のんびりヨガ	6	71
3月23日・30日	みんなで楽しく頭の体操	2	50
3月24日	お料理女子会	1	6
3月26日	みんなでズンバ♪	1	8
合 計		56	700

- (4) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	0	0	0	0	0	0		
利用者数	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
団体数	0	0	0	0	0	0	0	146
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	1,866

(5) 高年者の送迎サービス状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
往路	0	0	0	6	7	8		
復路	0	0	0	6	5	4		
計	0	0	0	12	12	12		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
往路	12	6	11	0	0	5	55	6,846
復路	5	6	6	0	0	3	35	6,394
計	17	12	17	0	0	8	90	13,240

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	0	0	0	0	0	0	0	37,741
女	0	0	0	0	0	0	0	30,226
計	0	0	0	0	0	0	0	67,967

(7) サークル活動の状況 (令和3年3月31日現在)

サークル名	会員数	活動回数	サークル名	会員数	活動回数
健康アップクラブ	21	13	陶芸ロクロの会	13	41
光友会	16	7	虹のキャンパス	12	15
コーラス風	17	20	新里将棋同好会	43	197
琴晴会	6	3	花みずき	27	25
サークル琴	4	休止中	ファイヴステップ	12	23
手芸サクラ	21	10	フォークダンスクラブ金のくつ	9	9
スピリチュアルヨガ	6	20	芙蓉会	7	9
ダンスサークルレモン	6	休止中	ふれあいの里健康体操の会	19	14
千絵会	2	19	よさこい新里	10	22
つくし会	15	14	さくら草の会	23	13
陶芸友の会	15	34	合計	304	508

(8) 研修室等の利用状況

() 内は団体数 (単位:人)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研修室 1・2・3	(0)	(0)	(0)	(53)	(63)	(61)	(54)	(54)
	0	0	0	666	722	764	691	691
研修室4 調理実習室	(0)	(0)	(0)	(27)	(47)	(49)	(53)	(53)
	0	0	0	179	396	416	436	436
音楽室	(0)	(0)	(0)	(0)	(16)	(19)	(22)	(22)
	0	0	0	0	20	31	39	39
工芸室	(0)	(0)	(0)	(26)	(31)	(31)	(26)	(26)
	0	0	0	146	164	198	176	176
和室 板の間	(0)	(0)	(0)	(28)	(23)	(26)	(29)	(29)
	0	0	0	113	103	116	133	133
大集会室	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0	0	0	0	0
小集会室	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0	0	0	0	0
開放施設								
	0	0	0	139	422	522	588	588
合計	(0)	(0)	(0)	(134)	(180)	(186)	(184)	(184)
	0	0	0	1,243	1,827	2,047	2,063	2,063
区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
研修室 1・2・3	(57)	(47)	(30)	(0)	(8)	(373)	(373)	(373)
	687	588	366	0	107	4,591	4,591	4,591
研修室4 調理実習室	(58)	(47)	(17)	(0)	(18)	(316)	(316)	(316)
	473	383	141	0	159	2,583	2,583	2,583
音楽室	(22)	(17)	(1)	(0)	(0)	(97)	(97)	(97)
	39	20	4	0	0	153	153	153
工芸室	(27)	(26)	(16)	(0)	(3)	(186)	(186)	(186)
	152	144	94	0	18	1,092	1,092	1,092
和室 板の間	(30)	(25)	(9)	(0)	(2)	(172)	(172)	(172)
	143	131	49	0	16	804	804	804
大集会室	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0	0	0	0	0
小集会室	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0	0	0	0	0
開放施設								
	740	453	0	0	88	2,952	2,952	2,952
合計	(194)	(162)	(73)	(0)	(31)	(1,144)	(1,144)	(1,144)
	2,234	1,719	654	0	388	12,175	12,175	12,175

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

草加市障害者グループホーム ひまわりの郷

I 共同生活援助（グループホーム）事業

1 日常生活支援

- (1) 栄養のバランスと個々の嗜好を考慮しながら、季節感のある食事を提供しました。
- (2) 排せつ及び入浴については、利用者個々の能力や身体状況に応じた支援を行いました。
- (3) 身だしなみや清潔さに配慮した日々の生活上の支援を行い、必要に応じて季節毎の衣替えや衣類等の整理・整頓の支援を行いました。
- (4) 衣料品、靴及び日用品等の買い物支援代行を行い、過不足無い生活を送れるよう支援しました。

2 相談及び援助

利用者及びその家族等が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、家族等や利用者の相談に応じるとともに、適切な助言、援助等を行いました。

3 健康管理、服薬管理及び通院付添等

- (1) 利用者の心身の観察と疾病予防等に努めるとともに、日中活動施設等との連携を図り、健康状態の把握に努めました。
- (2) 医療機関、家族等と連携し、服薬治療を必要とする利用者が適切に服薬できるように、個々に合わせた介助及び支援を行いました。
また、通院の必要性がある場合は、必要に応じて付き添いの支援を行いました。
- (3) 身体機能の維持・向上及び心身のリフレッシュを目的に、日中活動施設等が休みの日にはラジオ体操や個々の状態に合わせた体操の機会を提供しました。

4 家族・日中活動施設等との調整

家族（又はそれに代わる支援者）及び日中活動施設等と連絡を密に取り合い、利用者の状況を把握し、円滑で安定した生活を送れるよう支援するとともに、日中活動施設等と事務連絡等の諸手続を行いました。

5 預り金等管理

生活支援上、財産の保全と管理を必要とする利用者にとって、管理に係る申し出を受け、利用者の所有する預り金等の管理を行いました。

6 余暇支援

レクリエーション活動や外出を通して、様々な体験をしながら心身のリフレッシュを図り、生活訓練の習得を兼ねた支援を行いました。

また、日中活動施設等が休みのときには、洗濯や掃除などの生活に必要な技術の訓練等を通して、自立した生活に向けた支援を行いました。その他、利用者が参加できる月1回の手作りおやつの日を設け、余暇支援の充実を図りました。

7 感染症対策

毎日の検温測定・手洗い・手指消毒に加え、外出時のマスクの着用等の新型コロナ

ウイルス感染対策に努めました。

また、移動支援による外出は、感染状況に注視しながら、三密を避けるため行動範囲の制限をする等の対応を図りました。

その他、職員による定期的な棟内の共有部分の消毒・空間除菌脱臭機の設置や業者等来館者の検温実施、感染予防備品の備蓄にも努めました。

II 短期入所（ショートステイ）事業

1 緊急一時保護

市内の緊急かつ一時的な保護を必要とする障がい者に対して短期入所のサービスを実施しました。

また、短期入所の定員のうち1名分は、緊急一時保護のために確保しました。

2 介護の負担軽減（レスパイト）

居宅で障がい者を介護する家族等の負担を軽減するため、短期入所を実施しました。

3 生活訓練

障がい者自身の生活の質を高めるための生活訓練の機会として、サービスを提供しました。

(共同生活介護 (グループホーム) 事業)

(1) 入居状況 (定員 30 人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	男性	21	21	21	21	21	21
	女性	8	8	8	8	8	8
数	合計	29	29	29	29	29	29
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	男性	21	21	21	21	21	22
	女性	8	8	8	8	8	8
数	合計	29	29	29	29	29	30

令和2年度年間利用者延べ人数 10,487人

(2) 年齢別状況 (令和3年3月31日現在)

(単位：人)

性別	年齢	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	平均 年齢
		29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	70歳	
男性		0	1	3	2	7	6	1	1	1	47.7歳
女性		0	1	1	0	2	1	2	0	1	48.9歳
合計		0	2	4	2	9	7	3	1	2	48.0歳

※ 最少年齢 31 歳 最高年齢 69 歳

(3) 障害支援区分 (令和3年3月31日現在) (単位：人)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	3	6	4	9	22
女性	1	2	2	3	8
合計	4	8	6	12	30

(4) 施設見学受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	0	0	1	0	0	0	1

(短期入所 (ショートステイ) 事業)

利用状況

(単位：人・日)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
訓練・レスパイト	2	0	0	2	1	1
緊急	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	2	1	1
延べ利用日数	11	0	0	11	5	5

区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練・レスパイト	2	2	2	0	0	0	12
緊急	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	2	0	0	0	12
延べ利用日数	18	12	8	0	0	0	70

令和2年度年間利用者延べ人数 70人

障害者総合支援センター

I 基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援の実施

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障がい者やその保護者及び障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行うとともに、障がい者等に対する虐待の防止とその早期発見のための関係機関との連絡調整を行いました。

2 成年後見制度利用の支援

成年後見制度を利用することが有用であると認められる障がい者及び関係者に、利用に対する助言、情報提供を行いました。

3 地域の相談支援体制強化への取り組み

(1) 地域の相談支援事業者へ年2回の訪問を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、電話等で対応する場合もありました。

(2) 地域の相談支援事業者の人材育成支援のため、研修会の企画・運営を行いました。新型コロナウイルス感染防止対策を行い、滞りなく開催しました。希望により、オンラインによる視聴にも対応しました。

(3) 地域の福祉サービス事業者、医療機関、民生委員等との連携を図るよう努めました。コロナ禍の影響もあり、医療機関や民児協への訪問はできないこともありました。

(4) 障がい者差別解消支援地域協議会への参加、虐待防止センターと虐待に関する情報を共有し対応を検討、支援の統一による再発防止に取り組む等、虐待防止や権利擁護に努めました。

4 特定相談支援事業の実施

(1) 障がい者の様々なニーズを把握するため、基本相談を実施しました。

(2) 障がい者本位に立ち、アセスメントを実施し、サービス利用支援を行いました。

(3) サービス計画実施後のモニタリングを行い、継続サービス利用支援を行いました。

事業所の新型コロナウイルス感染防止対策により、訪問の制限があり、電話での対応が多くありました。

5 利用者の生活の質の向上

多様なニーズへのきめ細やかな対応に努めました。また、一人ひとりの相談に応じ、それぞれの問題解決に向けて適切な情報提供や助言を行い、関係機関と連携し、必要な障害福祉サービス等に繋げていきました。

また、個別のケースを通じて把握したニーズや課題を自立支援協議会の運営等に活かし、相談支援体制の整備につながるよう努めました。

創意工夫による柔軟な対応を心がけ、インフォーマルな支援を含め、身近な地域での継続的な関わりができるよう社会資源を最大限活用し、適切な役割分担によりサービスの向上を図りました。

コロナ禍においても、障がい者支援及び事業が円滑に行えるよう、感染防止対策を

講じ、オンラインを活用する等、工夫をしながら運営を行いました。

6 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

II 東部障がい者就業・生活支援センター みらい

草加市障害者就労支援センター

1 就労相談

東部障がい者就業・生活支援センターみらい及び草加市障害者就労支援センター（以下「センター」という。）では、利用者又は家族その他支援機関や事業所からの就労及び在職に関する相談を行いました。この相談では、障がい特性の把握に関しアセスメントシートの作成を行い、支援の際の適切なツールとして活用しました。

また、新型コロナウイルスの影響により就労や生活面で変化が生じていないか状況把握をするため、センター登録者に対して電話連絡を行うなど安否確認を行いました。

2 アセスメント

基本は、電話予約にてセンターへ訪問していただき、初回面談及びアセスメントを行いました。アセスメントの際には、MWS（幕張ワークサンプル）、MSFAS（幕張ストレス・疲労アセスメントシート）、キャリアインサイト（職業適性診断システム）等の訓練評価ツールを使用し、3日間程度の職業適性訓練を実施しました。

さらに、基本的な労働習慣や障がいの自己理解などに不足が生ずる場合には、併設の提携施設等の訓練又は埼玉県職業能力開発センターの委託訓練や障害者職業センターの職業評価等を紹介し、様々な訓練を利用しながら状況把握を行いました。

3 就労前支援

利用者及びご家族のための企業見学の企画を行い、利用者の就労意欲の向上と本人の希望の確認等を行い、マッチングを図りました。そのために、様々な職種の職場実習先の開拓や関係機関の訓練を利用しながら、アセスメント兼体験の場及びマッチングの場として活用しました。

4 職場開拓

管轄ハローワークからの事業所照会を基本とし、事業所照会があった場合には、センターの職員が事業所の訪問や見学を行うとともに、事業所の職場環境と仕事内容を確認し、該当する利用者のイメージや障がい特性を基にマッチングを図りました。

また、センターの独自開拓や埼玉県障害者雇用総合サポートセンター及び他市の障がい者就労支援センター等と連携を図り、地域企業の開拓を行い、情報の共有に努めました。

5 集中支援

就労前や就労開始時期から集中的な支援が必要とされる場合は、ハローワーク、障害者職業センターや職場定着支援センターのジョブコーチ派遣依頼、必要に応じて他市の障がい者就労支援センターや施設、特別支援学校及びセンターで情報共有を行い、各機関が協力して支援ができるよう連携を図りました。

6 定着支援

就労後から半年程度の定期的な訪問や連絡は、企業と利用者の状況を踏まえて行いました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問が不可な場合はZOOMを活用し、オンラインにて状況の確認を行いました。

また、他市の障がい者就労支援センターや施設、特別支援学校、障害者職業センター及び埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ等と連携を図りながら適切な支援を行いました。

定着支援に関しては、利用者の状況を踏まえて支援の頻度を減らしていき、本人が自立して働けるよう支援を行いました。同時に企業に対しては、センターの支援方針を理解いただきながら障害者雇用が円滑に進められ継続できるよう支援しました。

7 地域ネットワークの構築及び活用

草加市障害者就労支援センターとして、地域の就労支援が円滑かつ効果的に行われるよう、草加市障害者就労支援連絡会を開催しました。その際には、新型コロナウイルス感染防止の観点からZOOMを活用し、オンラインにて会議を行いました。

また、一般就労している障がい者に対して情報誌を発行し障がい者同士の繋がりを維持し就労が継続できるよう職場定着の促進に繋がりました。

さらに、東部圏域市就労支援センター連絡会を開催し、みらいを中心とした圏域内の各市障がい者就労支援センターとの連携強化を図りました。

8 感染症対策

新型コロナウイルス感染予防として、緊急事態宣言時には職員を分割し、ふれあいの里にてサテライトオフィスでの勤務を行い、三密を回避しました。センター内にはパーテーションを設置し、来客者や相談者には検温・手指消毒やマスク着用の協力を依頼し、消毒等を徹底しました。

また、職員の外出について、公共交通機関での移動は制限しできるだけ自転車や公用車の使用に努めました。

9 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

(草加市基幹相談支援センター)

(1) 支援方法 (令和3年3月31日現在)

区 分	件 数	うち発達障害
訪問相談	570	2
面接相談	212	2
電話相談	2,838	7
関係機関連携	5,494	11
電子メール	187	0
FAX・郵便	89	1
ケースカンファレンス	123	1
同 行	104	1
その他	14	0
合 計	9,631	25

令和2年度年間利用延べ件数 9,631件

(2) 登録者等人数 (令和3年3月31日現在)

種 別	人 数
登 録 者	524
うち一般相談	244

(3) 登録者等障がい別人数 (令和3年3月31日現在)

区 分	身 体	知 的	精 神	発達障害	手帳なし	計
登 録 者	59	415	31	4	15	524
	【26】	【176】	【25】	【3】	【14】	【244】
重複障害	24	48	4	3	0	79

【 】内は一般相談

(4) 計画相談 (令和3年3月31日現在)

種 別	人 数
新規計画	13
モニタリング・継続計画	273
モニタリング	329

(5) 支援内容（令和3年3月31日現在）

区 分	件 数	うち発達障害
① 福祉サービスの利用に関する支援	7,267	24
② 社会資源の活用に関する支援	243	1
③ 障害や病状に関する支援	674	3
④ 健康・医療に関する支援	894	0
⑤ 情緒不安定に関する支援	554	0
⑥ 保育・教育に関する支援	39	0
⑦ 家族関係・人間関係に関する支援	617	2
⑧ 家計・経済に関する支援	207	0
⑨ 社会生活力に関する支援	65	0
⑩ 就労に関する支援	162	3
⑪ 社会参加に関する支援	7	0
⑫ 余暇活動に関する支援	0	0
⑬ 権利擁護（成年後見）に関する支援	36	0
⑭ 問い合わせ（①～⑬に該当しない）	10	0
⑮ その他	53	0
合 計	10,828	33

(延べ件数)

(6) 関係機関との連携強化の取り組み（令和3年3月31日現在）

①主催

月 日	会 議 名
5月15日	第1回自立支援協議会相談支援部会
6月19日	第1回自立支援協議会くらし部会
7月3日	第1回自立支援協議会就労支援部会
8月7日	第2回自立支援協議会相談支援部会
9月9日	草加西部地区民生委員・児童委員協議会研修 「障がいてどんなこと？」
9月11日	第2回自立支援協議会くらし部会
10月16日	第2回自立支援協議会就労支援部会
11月6日	第3回自立支援協議会相談支援部会
12月11日	第3回自立支援協議会くらし部会
12月23日	市内事業所連絡会 研修会「太陽の里における新型コロナウイルス感染症対策について」
1月15日	第3回自立支援協議会就労支援部会
2月26日	草加市基幹相談支援センター研修 「グループスーパービジョンについて」

(東部障がい者就業・生活支援センターみらい)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区分	身体	知的	精神	その他	計
来所	80	370	260	14	724
電話・Eメール	488	2,990	2,006	49	5,533
職場訪問	77	858	214	4	1,153
家庭・利用施設 への訪問	2	7	1	0	10
その他	0	1	0	0	1
合計	647	4,266	2,481	67	7,421

令和2年度年間利用延べ件数 7,421件

(2) 登録者等人数 (令和3年3月31日現在)

区分	人数
登録者	1,181
就職者	823

(3) 登録者等障がい別人数 (令和3年3月31日現在)

区分	身体	知的	精神	計
登録者	101	769	311	1,181
就職者	60	581	182	823

(4) 職場実習のあっせん状況

区分	身体	知的	精神	計
件数	1	14	5	20

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く)

区分	身体	知的	精神	計
件数	6	83	31	120

(6) 定着率 (1年経過時点、平成31年4月から令和2年3月末までの就職者) (%)

区分	身体	知的	精神	計
定着率	76.9	84.7	78.1	81.7

(草加市障害者就労支援センター)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区分	身体	知的	精神	その他	計
来所	50	231	181	5	467
電話・Email	287	1,159	974	16	2,436
職場訪問	46	346	108	4	504
家庭・利用施設への訪問	2	5	1	0	8
その他	0	1	0	0	1
合計	385	1,742	1,264	25	3,416

令和2年度年間利用延べ件数 3,416件

(2) 登録者等人数 (令和3年3月31日現在)

区分	人数
登録者	509
就職者	343

(3) 登録者等障がい別人数 (令和3年3月31日現在)

区分	身体	知的	精神	計
登録者	56	292	161	509
就職者	33	216	94	343

(4) 職場実習のあっせん状況

区分	身体	知的	精神	計
件数	1	5	3	9

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く)

区分	身体	知的	精神	計
件数	4	27	15	46

(6) 定着率 (1年経過時点、平成31年4月から令和2年3月末までの就職者) (%)

区分	身体	知的	精神	計
定着率	71.4	76.9	76.5	76.0

生活介護事業所そよかぜの森

I 知的障がい者等向けサービス

1 日中活動

季節に応じた園芸や創作活動、講師による音楽療法やエアロビクスの他、足湯等のリラクゼーション活動や余暇支援等を提供し、日々の充実と心の安定が図られるよう支援しました。

また、コロナ禍において、これまで同様の活動が制限される中、行事等の内容を工夫し例年同様の楽しみを味わえるよう、感染予防対策を行いながら重症心身障がい者と合同のミニコンサートの実施や、近隣でのいも掘り体験、お弁当外出などを実施しました。

2 生産活動

利用者個々の能力を評価したうえでグループ編成を実施し、一人ひとりの特性に合わせた作業内容を提供しました。缶つぶし作業では、近隣の事業所に空き缶の回収に伺うなど作業内容の拡大と初の換金により工賃の支給を行うことができました。

3 健康の維持・増進

日課としてのラジオ体操、運動プログラムでの筋力・体幹トレーニング及び近隣の散歩等により基礎体力の向上を図りました。また、適宜体力測定を実施し個々の身体能力の評価を行いました。

4 食事サービス

給食委託業者と連携し、徹底した衛生管理・栄養管理の下、安全かつ栄養バランスの取れた献立を提供しました。

また、楽しみや季節感を意識し、メニューを選択できるセレクトメニューの実施や行事食の充実に努めました。

5 送迎サービス

利用者宅を考慮した独自の送迎ルートを開拓し、法人所有の中型バスで草加市内を循環するスポット送迎を実施しました。また、密になりやすい環境に配慮し車内の換気や乗車時の健康確認、アルコール手指消毒を実施しました。

II 重症心身障がい者向けサービス

1 日中活動

利用者個々の能力や興味及び障がい特性を考慮した創作活動、講師による音楽療法や季節を感じられる行事の他、ボランティアによるムーブメント活動やミニコンサート、レクリエーション活動を実施しました。

また、スヌーズレンを定期的実施し、視覚・聴覚・触覚等の五感を刺激することで心地よさを得られるリラクゼーション活動を実施しました。

コロナ禍において、室内での活動については、密を避けるために室内を広く活用できるよう備品等の配置に配慮すると同時に、できるだけ屋外活動を取り入れ、主に駐車場での外気浴等で心身のリフレッシュを図りました。

2 身体機能の向上（機能訓練）

嘱託医による定期的な診察と、理学療法士・作業療法士による、専門的な理学療法と、その指導の下に計画された機能訓練を実施しました。

3 食事サービス

給食委託業者と連携し、安全かつ栄養バランスの取れた献立で楽しみと季節感を感じ、徹底した衛生管理・栄養管理のある給食を提供しました。

また、利用者の障がい特性を考慮して、刻み・ペースト等の加工を行い、個別に対応した食事提供を行いました。

4 送迎サービス

送迎を希望する利用者へ安全に配慮したドア to ドアによる送迎を行いました。

また、定期的にドライバーと会議を実施し、送迎コースや運行時間などの見直しや安全運転に配慮した運行及び添乗職員とドライバーの連携に努めました。

5 入浴サービス

ご自宅での入浴が困難な方を優先として、個別機能に配慮した特殊機械浴槽による入浴サービスを実施し、介護者の負担軽減と身体の衛生保持に努めました。

6 医療的ケア

嘱託医による定期的な検診を行うとともに、主治医からの指示・指導を受け、ご家族の同意の下、看護師等による喀痰吸引及び経管栄養等の医療的ケアを実施しました。また、介護福祉士による喀痰吸引の実地研修を実施し、喀痰吸引等業務従事者登録後、喀痰吸引等特定行為実施事業所としての登録申請を行いました。

III 日中一時支援事業

利用者家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するとともに、家族の緊急時における利用者の一時預かりとして、日中一時支援事業を行いました。

IV 健康管理

嘱託医による定期的な診察の実施と看護職員によるバイタルチェック等から利用者の健康状態を把握し、必要に応じて、通院同行や電話連絡等による主治医及び関係機関との連携を取り情報共有と利用者の健康管理に努めました。

なお、コロナウイルス感染を含めた感染症の予防に努め、登所時の健康確認を徹底するとともに、濃厚接触者及び発症に対しては家族との連携のもと迅速な対応を図り感染防止に努めました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に対し、個人面談や電話相談を実施し、必要に応じて関係機関と連携し迅速かつ適切な対応をしました。

また、新型コロナウイルス感染拡大予防による欠席日については、電話にて相談支援を行い、必要に応じて各専門職、関係機関と連携し、在宅での困りごと等に対応できるように支援しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者懇談会は密を避けることができるよう障害種別により分けて実施しました。

VI 地域交流

コロナ禍により地域の方々との交流が制限される中、缶つぶし作業による近隣事業所への空き缶回収や換金業者への訪問等、これまでとは違った活動内容を実施し交流が途絶えないよう取り組みました。

また、緊急事態宣言期間を避け、見学者及び実習生を受け入れることで、事業内容や障がい者への理解を深め、誰もが支援者になれる意識を持てるよう取り組みました。

VII 防災意識の向上

常に建物及び設備等の点検を実施し、施設の安全管理に努めるとともに、消防計画に沿った避難誘導訓練や初期消火訓練を実施し、職員及び利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

また、事業継続計画の策定のため、実行委員会を開催し有事の際の業務や行動計画を話し合い、備蓄用品の確保等非常災害に備えました。

VIII 職員研修

リモートによる研修会への参加により、的確な情報の把握や専門知識の習得に努め、研修で得た知識は内部研修として情報共有し、職員全体のスキルアップに繋げました。

また、事業団内部のグループスーパービジョンにより、相談支援の基礎となる気付きや対応のあり方などを、改めて学ぶ機会を得ることができました。

(生活介護事業)

(1) 利用者入退所状況 (令和3年3月31日現在)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的 障がい者	入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	退所者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	在所者	18	18	18	18	17	17	17	17	19	19	19	19	19
重症 心身 障がい者	入所者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
在所者合計		34	34	34	34	33	33	33	33	35	35	35	35	35

※ 前年度末在所者数：31人

※ 令和2年度年間利用者延べ人数：7,145人

(2) 障害支援区分別 (令和3年3月31日現在)

(単位：人)

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均支援区分
知的障がい者	0	6	6	7	19	5.8
重症心身障がい者	0	0	0	16	16	
合計	0	6	6	23	35	

(3) 年齢別分布表 (令和3年3月31日現在)

① 知的障がい者

(単位：人)

性別	年齢	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均年齢
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳			
男性		0	5	1	3	1	0	10	35.1歳
女性		1	4	3	1	0	0	9	28.1歳
合計		1	9	4	4	1	0	19	31.8歳

※ 最少年齢19歳 最高年齢56歳

②重症心身障がい者（令和3年3月31日現在）（単位：人）

年齢 性別	18 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	合計	平均 年齢
	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳			
男 性	1	5	1	0	0	0	7	23.7歳
女 性	1	7	1	0	0	0	9	23.7歳
合 計	2	12	2	0	0	0	16	23.7歳

※ 最少年齢 19 歳 最高年齢 36 歳

(4) 送迎サービス・入浴サービス利用実績（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
送迎サ ービス	343	285	539	551	532	483	597	486	531	399	428	619	5,793	5,186
入浴サ ービス	37	21	61	64	63	59	59	58	55	46	43	61	627	554

(5) 医療的ケア実施状況（単位：人）

内 容	人 数	前年度実績
喀痰吸引	7	7
経管栄養	6	6
呼吸器管理	1	1

(6) 主な活動状況

月	内 容
毎 月	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクス（講師依頼）・運動（筋力トレ、卓球、他） ・音楽療法（講師依頼）・歌、楽器演奏 ・園芸 ・作業活動 ・リラクゼーション（散歩、外気浴、足湯、スヌーズレン、他） ・アート（創作、絵画、壁面装飾、他） ・レクリエーション ・ウォーターレクリエーション（夏季）
5月	3周年記念
6月	訪問理美容
8月	夏祭り
10月	いも掘り体験、空き缶作業換金
11月	ハロウィンコンサート
12月	クリスマス会、クリスマスコンサート
3月	お花見お弁当外出

(7) ボランティア受け入れ状況 (単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
音楽ボランティア	9日	9人
卓球ボランティア	8日	16人
活動ボランティア	5日	5人
支援ボランティア	16日	16人

(8) 見学者受け入れ状況

(単位：組)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	見学者	0	0	1	5	4	1	0	0	0	0	0	0

(9) 日中一時支援事業利用実績

(単位：日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的障がい者	1	0	1	1	2	2	0	1	0	0	0	0	8
重症心身障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4
合計	1	0	1	1	2	2	0	1	3	0	0	1	12